

## 日本唾液腺学会 学会奨励賞選考委員会及び理事会決定事項（令和元年10月）

### I. 学会奨励賞選考委員会

#### 1. 学会奨励賞選考

##### (1) 受賞演題及び受賞者

###### 1) 学会奨励賞（基礎的研究）

唾液腺発達におけるmTORシグナル経路の役割

○酒井 学<sup>1),2)</sup>・井階一樹<sup>2)</sup>・皆木 瞳<sup>2)</sup>・阪井丘芳<sup>2)</sup>

(<sup>1)</sup> 大阪大学歯学部附属病院検査部, (<sup>2)</sup> 同歯学系研究科顎口腔機能治療学教室)

###### 2) 学会奨励賞（臨床的研究及び病理診断学的研究）

受賞対象者なし。

### II. 理事会

#### 1. 報告事項

##### (1) 会員現況（令和1年9月30日現在）

○令和1年度会員登録者数：280名

○第63回学術集会参加者数：73名

##### (2) 学会ホームページ掲載

○第64回学術集会 会長挨拶、ポスター、プログラム

・日本唾液腺学会 HP「学会案内」(<https://www.daekisen.org/info/index.html>)

・m3.com 学会研究会 (<https://kenkyukai.m3.com/>) 内「日本唾液腺学会」

○歯科基礎医学会・日本唾液腺学会共催シンポジウム開催

・日本唾液腺学会 HP「お知らせ」(<https://www.daekisen.org/>)

○会員のイグ・ノーベル賞受賞報告

・日本唾液腺学会 HP「お知らせ」(<https://www.daekisen.org/>)

■ 本学会参与の渡部茂教授（明海大学保健医療学部）が、「5歳児の唾液の量」をテーマとしたご研究によりイグ・ノーベル賞を受賞されました。

#### 2. 審議事項

##### (1) 第64回日本唾液腺学会開催の件

###### ●プログラム編成

○特別講演(2講演)、共催シンポジウム報告、症例検討(2題)、一般演題・基礎(9題)、一般演題・臨床(5題)の計16題、評議員会、総会で編成する。

○講演時間は特別講演(各60分)、共催シンポジウム報告(30分)、症例検討(発表10分+討論5分)、一般演題(発表10分+討論3分)とする。

###### ●開会及び閉会の挨拶

###### ●座長の選任

###### ●歯科基礎医学会・日本唾液腺学会共催シンポジウム報告講演

以上